



ESPRESSO
MACHINE

INSTRUCTION MANUAL

XD.1

IPERESPRESSO



目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 各部のなまえ	4
■ 設置手順と試運転	5
■ 電源 ON	6
■ 電源 OFF	7
■ セーブモード	7
■ コーヒーの抽出	8
■ コーヒー量の設定	9
■ フォームドミルクの作り方	10
■ スチーム使用後のコーヒー抽出	12
■ お湯の出しかた	13
■ スケール除去	14
■ クリーニングとメンテナンス	16
■ 仕様・推奨	17
■ 故障かな？	18
■ 保証書	
■ 修理・アフターサービス	

安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

- ★ ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ★ ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- ★ 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

★ 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

- ：禁止
- ：接触禁止
- ：水ぬれ禁止
- ：分解禁止
- ：ぬれ手禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- ：指示を守る
- ：電源プラグを抜く

危険

- 自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
感電・火災の原因になったり、異常作動してケガをすることがあります。

警告

電源/コンセントについて

- 電源は交流100V (50/60Hz) で「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。
- 延長コードやテーパータップ、ソケットなどは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ/電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。
- 取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取り付けの悪い（ガツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

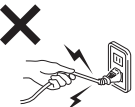
電源プラグ/電源コードについて

- 電源プラグ/電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
使用中に、電源プラグ/電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店またはキーコーヒー側お客様センターに、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。
- 動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因になります。
- 電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。
- 変形・破損している電源プラグ/電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー側お客様センターに、交換を依頼してください。
- 電源プラグ/電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ/電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

警告

使用中／使用後について	
❌ お子様だけでは使わない。幼児の手の届くところで使わない ヤケド・感電・ケガの原因になります。 ❗ コーヒー抽出口や給湯ノズルから出てくるお湯やスチーム（蒸気）に注意する 高温のため、ヤケドの原因になります。	❗ 使用中は給水タンク内の水量をチェックする 極端に水が少ない状態が続くと異常発熱し、発火する恐れがあります。
使用中	
❗ 異常が生じた場合は、使用を中止する 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。	
お手入れについて	
❗ 本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う ヤケド・感電・ケガの原因になります。	

注意

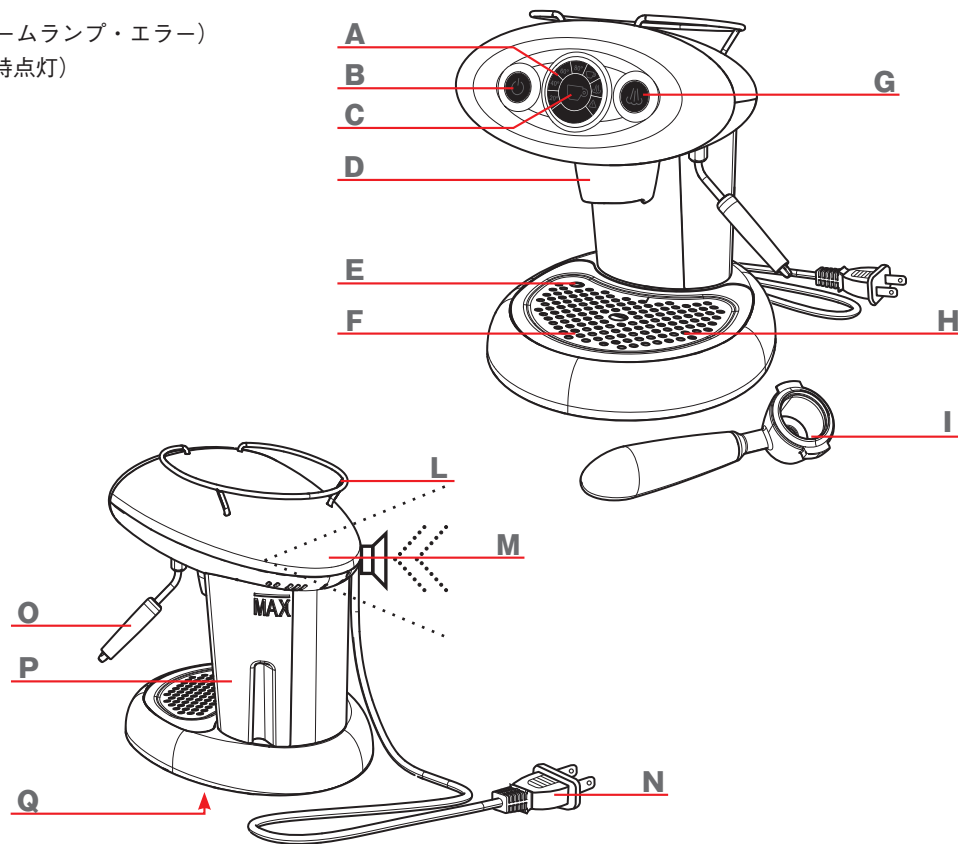
電源について	
❗ ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する 使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。	
電源プラグ／電源コードについて	
❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く 電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。	❌ 使用中は、電源コードを本体に触れさせない 熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。
✕ 	

注意

設置場所について	
❌ 本体は不安定なところや熱に弱い場所、屋外には置かない 本体や置いた物・場所が変形・変質したり火災の原因になります。	
使用中／使用後について	
❗ 本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する 感電・火災の原因になります。 🔧 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く ❌ 誤って、電源が入る恐れがあります。 ❌ 本体や操作部に水やジュースをこぼさない 本体や操作部（コントロールパネル）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。	❌ 使用中および使用後しばらくはコーヒー抽出口部分、スチーム管に触らない ヤケドの原因になります。 ❌ 他の用途で使用しない 本製品は、コーヒーの抽出、給湯、蒸気による泡立て／加熱専用です。故障の原因になります。 🔧 使用しないときは、電源を切り、必ずプラグをコンセントから抜く 故障の原因になります。 ❌ 給水タンクの最大水量（MAX 表示）を超えて水を入れない 故障の原因になります。 ❌ 他製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない 故障や事故の原因になります。
お手入れについて	
❗ 使用後は、必ずお手入れする 故障の原因になります。 ❌ 絶対に、水に浸したり、水洗いをしない 故障の原因になります。 ❌ 本体と電源コード／プラグに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない 感電やショート、故障の原因になります。 ❗ 洗剤は、必ず台所食器用洗剤を使用する 研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー洗剤などは使用しないでください。本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。	❌ ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤーワール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しない 本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。 ❗ 牛乳の加熱／泡立てなどでスチームを使用した後は、必ずお手入れする 衛生のため、必ずお手入れしてください。ミルクが内部に残ったり、固まったりするのを防ぎます。

■ 各部のなまえ

- A. 温度表示（コーヒーランプ・スチームランプ・エラー）
- B. 電源ON/OFF スイッチ（電源ON時点灯）
- C. コーヒー抽出ボタン（開始/停止）
- D. 抽出ユニット
- E. ドリップトレイ満水表示
- F. すのこ
- G. スチームボタン
- H. ドリップトレイ
- I. カプセルホルダー
- L. カップホルダー
- M. アラーム
- N. 電源プラグ
- O. スチームノズル
- P. 水タンク
- Q. 定格銘板



■ 設置手順と試運転

本体を電源に接続する前に、前頁の安全上の注意をよくお読みください。

- 1 電源プラグがコンセントから外れていることをご確認ください。**①**
- 2 下からカプセルホルダーを差し込み、しっかりはまるまで右に回してください。**②③**
- 3 マシンから水タンクを外し、洗い、水をMAXマークの上限まで入れてください。**④⑤**
- 4 タンクをマシンに戻し、しっかりはまっている事を確認してください。**⑥**
- 5 電源プラグをコンセントに差しこんでください。
マシンの電源を入れるため、次の章を参考にしてください。

注記：

発送時の梱包材を（少なくとも保証期間内は）保管することをお勧めします。
マシンの修理のためにサービスセンターへ発送する時に必要になります。

⚠ 警告：

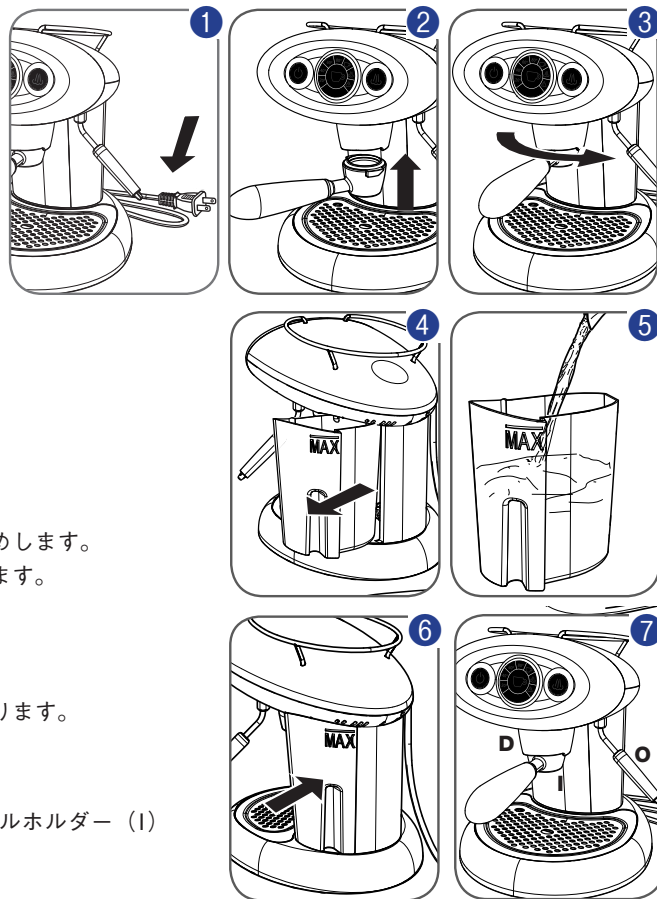
タンクには、飲料水のみ入れてください。

熱湯や、他の液体を入れるとタンクにダメージを与える可能性があります。

ご使用前に必ず水が入っている事を確認してください。

⚠ 警告：

操作中に、抽出ユニット（D）やスチームノズル（O）、またカプセルホルダー（I）の金属部分は大変熱くなりますので、火傷に注意してください。**⑦**



■ 電源 ON

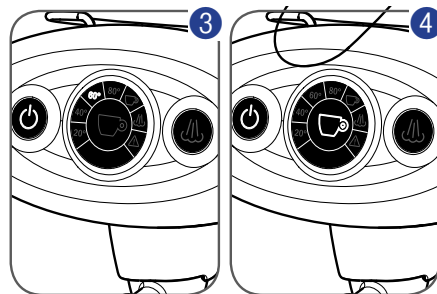
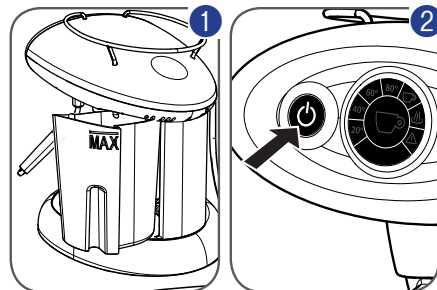
- 1 マシンの電源を入れる前に、タンクの水量を確認し、MAXマークの上限まで水を補充してください。①
- 2 ライトが点灯するまで電源スイッチ  を押してマシンの電源を入れてください。②
- 3 ボイラー温度が上がると、温度表示のアイコンが点灯し、ボイラー温度を表示します。③
- 4 マシンが抽出温度に達すると、コーヒー抽出ボタンが点灯し、ブザーが鳴ります。④



もし三角形のライトが点灯し、ブザーが鳴ったら、「故障かな？」の章を参考にしてください。



初めて使用される時、又は長時間使用されなかった時は、使用を開始する前にカプセルなしで数回抽出してください。⑤



■ 電源 OFF

- 1 マシンの電源を落とすには、フロントパネルが消えるまでボタン  を押してください。⑥
- 2 電源が入っている状態で、絶対に電源プラグを抜かないでください。

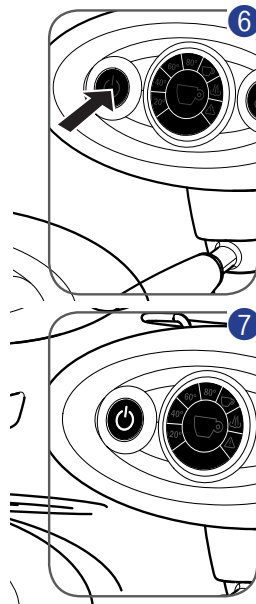
■ セーブモード

マシンは環境に配慮し、使用していない時に電気消費量をセーブするようプログラム化されています。

- 30分間使用しないと、自動的に電源がOFFになります。

自動的に電源がOFFになる5分になると、電源スイッチ  が点滅します。

電源を入れたままにしておきたい場合は、再度電源スイッチを押してください。⑦



■ コーヒーの抽出

• X7.1は、“Iperespresso” カプセル専用マシンです。

次の手順に従ってください。

- 1 カプセルホルダーを左に回して、抽出ユニットから外してください。①
- 2 カプセルの向きを確認し、図のように、カプセルを差し込んでください。②
- 3 抽出ユニットにカプセルホルダーを戻し、ホルダーが所定の位置にとまるまで右に回してください。③④
- 4 コーヒー抽出ボタン  が点灯している事を確認してください。
- 5 コーヒー抽出ボタン  を押すと抽出がスタートします。

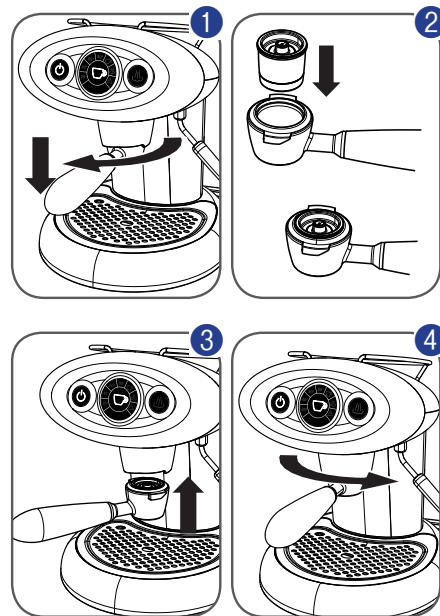
- コーヒーの抽出は設定量に達すると自動で止まります。
- 途中で抽出を止めたい場合は、もう1度コーヒー抽出ボタンを押してください。
- 続けてコーヒーを作る場合、使用済みカプセルを外し、上記の手順を繰り返してください。



コーヒー抽出ボタンを押した2、3秒後に、コーヒーの抽出が始まりますが、これはコーヒーを蒸らすためであり正常の動作です。

⚠ 警告：

- カプセルはコーヒー1杯用であり、同じカプセルで2杯抽出はできません。
- より安全にお使い頂くため、最長1分間の抽出でマシンは自動で止まります。
- ドリップトレイを定期的に掃除してください。



■ コーヒー量の設定

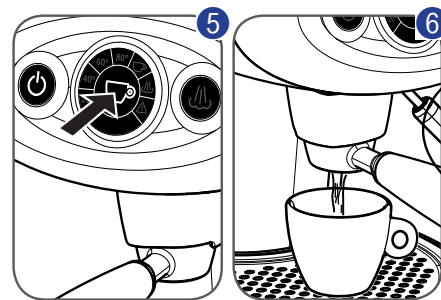
X7.1にはコーヒー抽出量の変更機能と、オートストップ解除の機能があります。

● コーヒー抽出量の変更

- 1 カプセルをカプセルホルダーに入れ、抽出ユニットにセットしてください。
- 2 カプセルホルダーの真下にカップを置いてください。
- 3 コーヒー抽出ボタンを、お好みの量になるまで押し続けてください。**⑤**
- 4 好みの量に達したら、ボタンを離してください。設定した量で記憶されます。**⑥**

● オートストップの解除

- 1 カプセルをカプセルホルダーに入れ、抽出ユニットにセットしてください。
- 2 カプセルホルダーの真下にカップを置いてください。
- 3 コーヒー抽出ボタンを長押しし、コーヒーが自動的に止まるまで押し続けます。(約1分) **⑤⑥**
- 4 コーヒー抽出が止まってからボタンを放すと、オートストップが解除されます。



- ・オートストップが解除されている場合、コーヒーは自動的に止まりませんので、お好みの量まで達したら、コーヒー抽出ボタンを再度押してコーヒーを止めてください。



再度オートストップの設定をしたい時は、「コーヒー抽出量の変更」の手順を実施してください。
抽出量の変更またはオートストップの解除を行うと、初期設定には戻せません。

■ フォームドミルクの作り方

このマシンは1、2杯分のカプチーノを作れるよう、牛乳を泡立てるスチーム機能を備えています。

効率よくカプチーノを作るために、先にカップにコーヒーを抽出してから以下の手順に沿って、牛乳を泡立ててください。

●手順

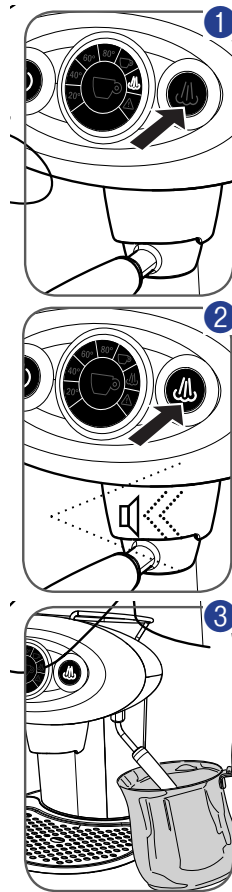
- 1 スチームボタンを押してください。①
- 2 中央ディスプレイのスチームアイコンが点灯し、スチーム噴出温度までマシンが加熱を始めます。
- 3 スチームボタン  が点灯すると使用可能です。②
- 4 この時、マシンは準備完了をお知らせする短いブザーが鳴ります。
- 5 スチームノズルの下に空の適切な容器を用意して、 ボタンを押してマシン内に残った水分を抜き出してください。(水抜き) ③
- 6 完全に蒸気になったら、ボタンを再度押してスチームを止めてください。
- 7 冷たい牛乳を容器（金属製を推奨）に入れてください。

注記：最良の出来上がりのため・・・

- 8 75ml程度の冷たい牛乳を冷蔵庫から出し容器に注ぎ、スチームノズル先端を、完全に牛乳の中に浸けてください。④
- 9 スチームボタン  を押してスチームを出し、牛乳を泡立ててください。
- 10 お好みの状態になったら、再度ボタン  を押してスチームを止めてください。

 :

スチームが出ている間、 ボタンが点灯します。





泡が立ちすぎて十分に加熱できない場合は、スチームノズルの黒いプラスチック部分すべてを牛乳に浸してください。完全に浸すと泡が立ちにくくなり、十分に加熱できます。

●スチーム使用後のお手入れ

- 1 スチームボタン  を押し、2～3秒間スチームを出したら、再度押し止めてください。(ノズル内部についた牛乳をとるため)
- 2 スチームノズルが冷えるまで、お待ちください。
- 3 パーツXとZを下に引っぱって外し、洗ってください。⑤

- ・スチームノズルの2つのパーツは食器洗浄機でも洗っていただけます。
洗浄後は、パーツXをスチームノズルにしっかりはめ、外側のZを付けてください。⑤

⚠ 警告：

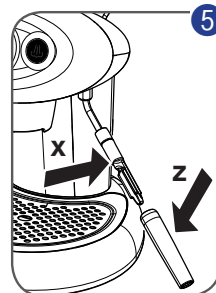
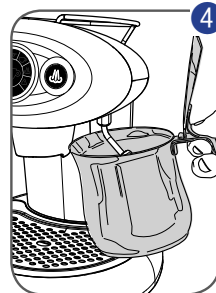
スチーム、スチームノズルに触れると火傷する恐れがあります。
スチームを出さない場合は、約5分で自動的にコーヒー抽出モードに戻ります。
その1分前に、ボタン  が点滅してお知らせします。
スチームを継続して使用する場合は、スチームボタンを押してください。



マシンがスチームモードになっている間、マシンは過熱が繰り返されているので、抽出ユニットとスチームノズルから少量のスチームが漏れることがあります。
火傷しないよう注意してください。

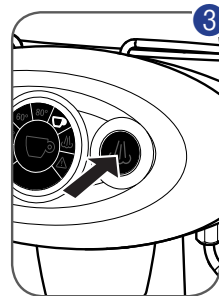
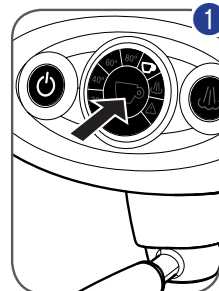
X7.1を使用したアレンジメニューをKEY COFFEEホームページでご紹介しています。

URL：<http://www.ffx7.jp/>



■ スチーム使用後のコーヒー抽出

- スチームを出した直後に、コーヒー抽出ボタンは機能しません。
- コーヒーモードに戻すには、コーヒー抽出ボタン  を押してボタンが点灯するまでお待ちください。冷ましている間（約10分）、中央のカップのアイコンが点滅します。①
- 短時間でコーヒーモードに戻したい場合は（約1分）、次の手順に従ってください。
 - 1 コーヒー抽出ボタンを押し、中央ディスプレイのカップのアイコンが点滅していることを確認します。
 - 2 スチームノズルの真下に金属製の容器を置いてください。②
 - 3 スチームボタン  を約3秒間長押ししてください。③
 - 4 設定された量の熱湯量をスチームノズルから抽出したあと、自動で止まり、コーヒー抽出ボタンが点灯し、コーヒー抽出が可能になります。



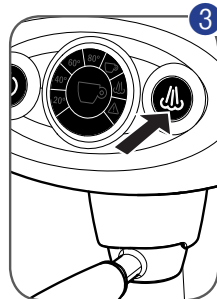
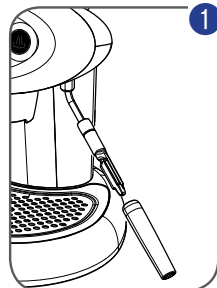
■ お湯の出しかた

- スチームノズルで、お茶や飲み物を作る為の、お湯も用意する事ができます。

コーヒーボタン  が点灯している事を確認してください。

次の手順に従ってください。

- 1 スチームノズルが汚れていない状態である事を確認してください。①
- 2 容器（金属製を推奨）をスチームノズルの真下に置いてください。②
- 3 スチームボタン  を3秒以上長押ししてください。③
- 4 マシンはスチームノズルから熱湯を出し始め、その間スチームボタン  が速く点滅します。
- 5 熱湯がお好みの量に達したら、再度スチームボタン  を押して止めてください。



■ スケール除去

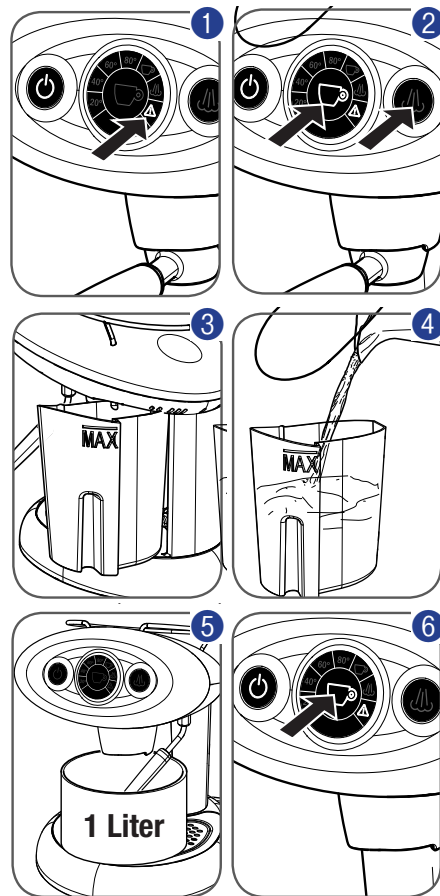
コーヒーマシンは、マシン内部にスケール（水中のカルシウム残留物）が付着した場合の除去のため、一定量のコーヒーを抽出するたびに自動で以下のアラームが表示されます。

- 中央ディスプレイの三角注意アイコン  が点滅（2秒毎に1回）

アラームが表示された場合は、次のように進めてください。①

手順開始

- 1 コーヒー抽出ボタン  とスチームボタン  を同時に5秒以上長押ししてください。②
- 2  と  のボタン、中央ディスプレイの三角注意アイコン  が同時に点滅し、スケール除去サイクルが選択されたサインが表示されます。
- 3 タンクを外して、1ℓの水を入れてください。（Maxレベルまで）③
- 4 市販のスケール除去剤を水の入ったタンクに入れ、溶けるまでお待ちください。④
- 5 カプセルとカプセルホルダーを外してください。
- 6 1ℓ以上入る空の容器を抽出ユニットの下に置いてください。
- 7 抽出ユニットとスチームノズルの両方から水が流れ出すので、スチームノズルを容器の方に向けてください。⑤
- 8 コーヒー抽出ボタン  を押してください。⑥
- 9 電源スイッチ  と三角注意アイコン  が同時に点滅したら、スケール除去の洗浄サイクルが始まり、水の排出が始まります。（このサイクルは約30分かかります。）



- 10 洗浄サイクルが終わると、ブザー音が鳴り、電源スイッチ  とコーヒー抽出ボタン  と三角注意アイコン  が同時に点滅します。7
- 11 次に、マシンの回路のリンスを行います。次の手順を実行してください。
- 12 タンクを外し、きれいに洗ってから1ℓの水を入れてください。(MAXのラインまで) 8
- 13 1ℓ以上入る空の容器を抽出ユニットの下に置いてください。
- 14 抽出ユニットとスチームノズルの両方から水が流れ出すので、スチームノズルを容器の方に向けてください。9
- 15 コーヒー抽出ボタン  を押してください。10
- 16 電源スイッチ  と三角注意アイコン  が同時に点滅したら、マシン内側の回路のリンスサイクルが開始されます。(このサイクルは約10分かかります。)
- 17 リンスサイクルが終了すると、点滅しているライトが全て消え、コーヒー抽出ボタン  が点灯し、ブザー音が鳴ります。11
- 18 容器を抽出ユニットの下から外し、しっかり洗ってください。
- 19 タンクに水を再度入れてください。12
- 20 スケール除去が終了しました。マシンが使用可能になります。

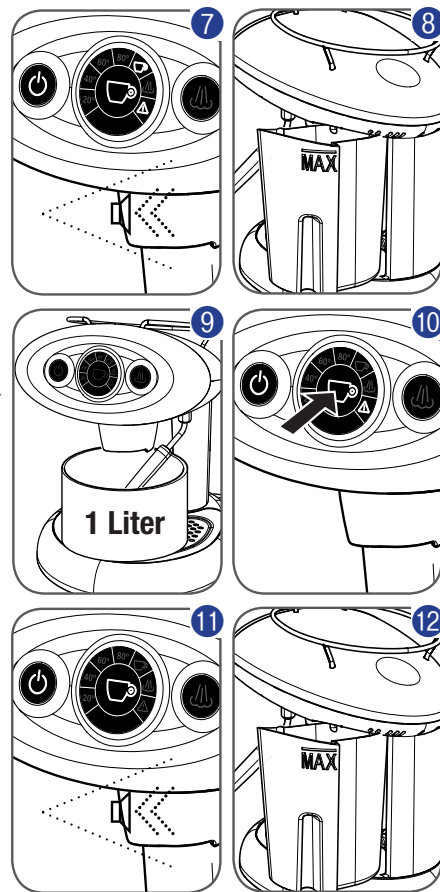
 警告：

除去処理をしている間に、停電等で主電源が落ちた場合、サイクルを最初からやり直す必要があります。

- もしスケール除去を行わないと、スケールが増え、保証ではカバーされない不具合を起こす場合があります。
- スケール除去剤の代わりに、酢・アルカリ液・塩・酸を使わないでください。マシン故障の恐れがあります。

注記：

アラームが表示されなくても、上記手順を実行できます。



■ クリーニングとメンテナンス

高品質なコーヒー抽出を維持するため、マシンの定期的な清掃をお勧めします。



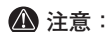
清掃はコンセントからプラグを抜いて、マシンが冷えてから作業してください。

マシンをきれいにするため、次の手順を実行してください。

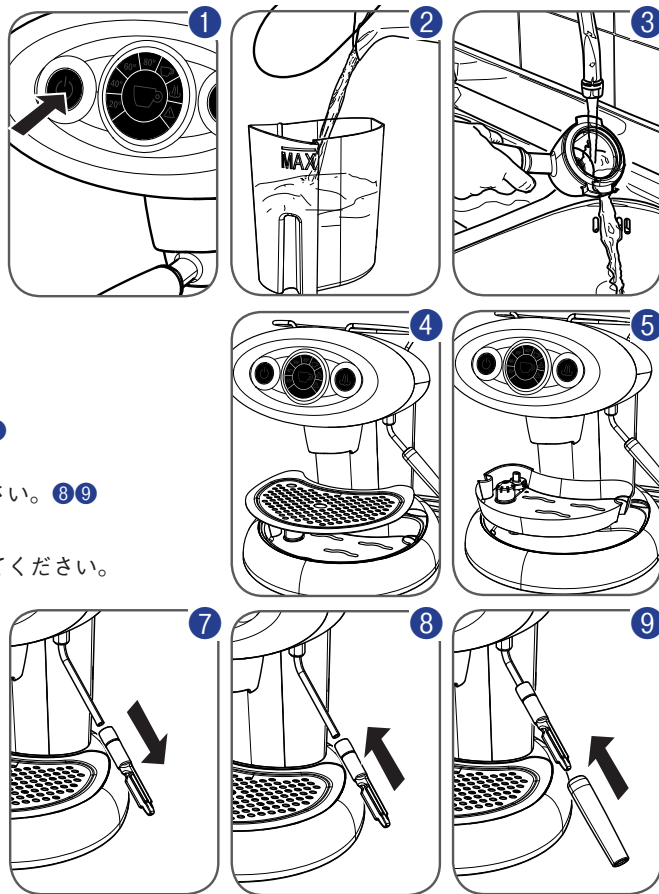
- マシンの電源を切り、プラグをコンセントから外してください。①
- 水タンクを外し、洗ってください。②
- カプセルホルダーを空にし、洗ってください。③
- すのこは外し、洗ってください。④
- ドリップトレイを外し、洗ってください。⑤
- スチームノズルの外側の先端部品を外してください。⑥
- スチームノズルの内側の部品を金属ノズルから外してください。⑦
- 2つの部品を分離した後、洗ってください。
- 洗浄後、内側部品を金属ノズルにはめ、外側の部品をはめてください。⑧⑨

注記：

- スチームノズルの先端部品を戻す際、しっかりはめるよう確認してください。
- タンクの水は新鮮なものを使用してください。タンクを洗って、使用する水は毎日入れ替えてください。
- 洗剤は必ず台所用洗剤を使用し、クレンザー、スプレー洗剤、漂白剤、エチルアルコール・溶剤・研磨材スポンジ、または強い化学物質は絶対に使わないでください。



注意：
マシンと付属品を電子レンジやオーブンで乾かさなでください。



■ 仕様

ボディー：PC+ABS (EU)、PC (USA)

内側スチームブロック：スチール

水タンク：1.2ℓ (MAX枠まで1ℓ)

ポンプ圧：15bar (約15気圧)

サイズ：200×340×350mm

電磁弁 2個

電子コントロールによる下記の機能：

- コーヒー自動抽出 (抽出量プログラム可能)
- 高性能ヒーターコントロール (コーヒー・スチーム)
- スケール除去処理メーター
- ボイラー温度メーター
- アラーム装置
- 自動スケール除去プログラム
- セーブモード
- スチームノズル
- カップホルダー

本体重量：5.00kg

電圧：100V、50/60Hz

消費電力：1200W

製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ 推奨

高品質のエスプレッソをお楽しみいただくために：

- マシン内部のスケール付着を最小限にするためミネラル含有量の低い水を使用してください。
- コーヒーカップはあらかじめ温めてからご使用ください。

■ 故障かな？

それでも直らない場合……キーコーヒー(株)お客様センターに連絡してください。

症 状

解決策

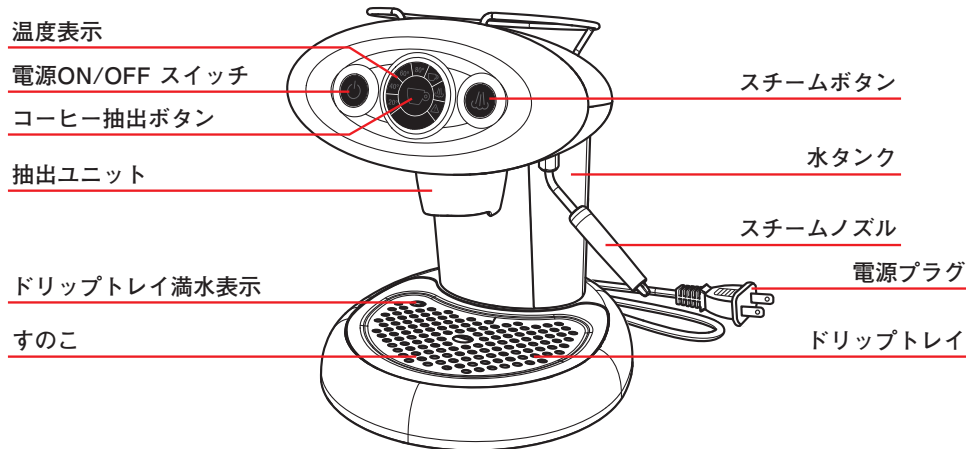
マシンの電源が入っているのにスイッチ  が点灯しない	• プラグがコンセントに接続されているか確認してください。ご家庭の配電盤のブレーカーを確認してください。
コーヒーが出てこない	• タンクに水を入れ、しっかりと取付けられているか確認してください。 • カプセルホルダーをユニットから取り外してください。 • コーヒースイッチが点灯するまで待ってください。(マシンがコーヒー抽出準備の状態です。) • カップを抽出ユニットの真下に置いて、コーヒースイッチを押してください。 • 数秒水を出しっぱなしにしてください。 • 流れが止まるまでコーヒースイッチを押してください。 • カプセルホルダーに新しいカプセルを入れ、所定の位置にしっかりとカプセルホルダーを回してください。再度、コーヒーを抽出してください。
スチームボタン  を押してもマシンから蒸気が出ない。	• 事例 a) もし、温度表示スチームアイコンがオンの場合、スチームアイコンが点灯するのを待ってください。 • 事例 b) 温度表示スチームアイコンがオフの場合、スチームスイッチを押し、スチームスイッチが点灯するまで(温まるまで) 待ってください。
スチームは出るがミルクが泡立たない	• 事例 c) スチームノズルが詰まった場合、電源を切り、マシンの熱が下がるのを待ち(1時間以上)スチームノズルの穴から詰まったものを取り除いてください。
コーヒー抽出中にユニットから水漏れする。	• カプセルが専用品か確認してください。 • カプセルホルダーに新しいカプセルを入れ、所定の位置にしっかりとカプセルホルダーを回し、(止まるまでハンドルを回してください。) 再度、コーヒーを抽出してください。
速いブザーと三角のアイコンが点滅する	以下の手順を行ってください。 • マシンの電源を切ってください。 • タンクに水を入れてください。 • スチームノズルの真下にピッチャーを置き、スチームボタンを押してください。 • マシンの電源を入れ、10秒程お待ちください。

それでも直らない場合……キーコーヒー(株)お客様センターに連絡してください。

症 状

解決策

三角のアイコンが点滅する。	• スケール除去サイクルを最後まで実施してください。(P.14~15)
マシン内部から水漏れする。	• マシン電源をオフにし、コンセントからプラグを抜き、水タンクを空にしてください。修理が必要なので、センターに連絡してください。
水タンクから水が漏れた。	• 水タンクを外して空にし、透明なゴムワッシャーを確認し、ゆるんでいたら奥まで押し込んでください。
抽出が始まる前にカプセルからコーヒーが落ちる。	• 最初の数秒の抽出でコーヒーが滴り落ちるのは蒸らし抽出であり、正常です。
コーヒーの抽出量がバラつく。	• 多少のバラつきは正常です。 • バラつきが多い場合は、電源コンセントは一つの回路を使用しているか、またはカプセルホルダーがきちんと取り付けられているか確認してください。
スチームノズルから水滴が落ちる。	• スチームノズル内に残ったスチームが冷えて水滴になり落ちる事がありますが、正常です。



メ モ
